

花の3名山（アポイ岳・早池峰山・至仏山）に登る

上野 紘機

▲アポイ岳



アポイタチツボスミレはアポイ岳固有のスミレで、光沢のあるやや紫がかった厚ぼったい葉っぱと鮮やかな青紫の花は、ここアポイ岳でしか見られない。



エズキスミレもほぼこの山でしか見られないという特異な黄スミレで、光沢があり厚ぼったい鋭い鋸歯を持つ葉と、凛とした黄色が輝く花はとても印象的である。

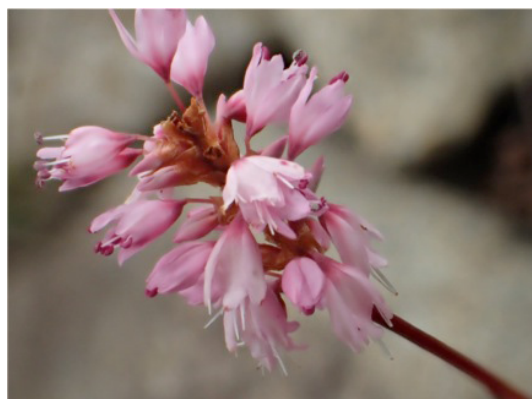


サマニユキワリ

▲早池峰山



ハヤチネウスユキソウは、本場アルプスのエーデルワイスに最も近い種と愛でられている。



ナンブトラノオ
(早池峰山に特徴的な種である)

▲至仏山



オゼソウ
(尾瀬で発見されたのでこの名がある)



ホソバヒナウスユキソウは、ハヤチネウスユキソウによく似ているが、花の周りの葉（包状葉）が細くより繊細な印象を与える。



ジョウエツキバナノコマノツメ
(上越黄花の駒の爪)